
記事

[Megumi Kakechi](#) · 2023年2月27日 2m read

Webゲートウェイをインストール後、503エラーでサイトにアクセスできません

Question:

Windows環境にて、新規サーバにWebゲートウェイ(Web Gateway)をインストールしたところ「HTTP Error 503. The service is unavailable.」エラーで接続ができません。
対処法を教えてください。

Answer:

IRIS2022.1以降のバージョンでは、Visual Studio 2015 Visual C++ 再頒布可能パッケージ(64bit)のインストールが必須となりました。
IRISをインストールされているお客様は、IRISのインストール時に VC++ 2015 再頒布可能パッケージもインストールされるため気にする必要はありませんが、Webゲートウェイのみインストールされる場合は別途インストールする必要があります。

VC++ 2015 再頒布可能パッケージをインストールしていない環境に
Webゲートウェイのみインストールした場合、Webゲートウェイ管理ページ (<http://localhost/csp/bin/Systems/Module.cxx>) にアクセスすると、
Service Unavailable / HTTP Error 503. The service is unavailable.
のエラーで接続できず、Windowsイベントログ (Application) には
モジュール DLL C:\inetpub\CSPGateway\CSPms.dll を読み込めませんでした。このデータはエラーです。
(The Module DLL C:\inetpub\CSPGateway\CSPms.dll failed to load. The data is the error.)
のエラーが記録されます。

こちらは、VC++ 2015 再頒布可能パッケージをインストールすることで解消します。

HTTP Error 503. The service is unavailable.
エラーは、上記のほかにも必要なdllがない場合にも発生することがあります。
例えば、手動でWebゲートウェイを構成している環境の場合、2022.1以降のバージョンでは
libcrypto-1_1-x64.dll と
libssl-1_1-x64.dll
の配置も必須となります。
これらのdllがない場合にも、HTTP 503 エラーとなりますのでご注意ください。

[#CSP #ヒントとコツ #InterSystems IRIS #InterSystems IRIS for Health](#)

ソースURL:

<https://jp.community.intersystems.com/post/web%E3%82%B2%E3%83%BC%E3%83%88%E3%82%A6%E3%82%A7%E3%82%A4%E3%82%92%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%82%B9%E3%83%88%E3%83%BC%E3%83%AB%E5%BE%8C%E3%80%81503%E3%82%A8%E3%83%A9%E3%83%BC%E3%81%A7%E3%82%B5%E3%82%A4%E3%83%88%E3%81%AB%E3%82%A2%E3%82%AF%E3%82%BB%E3%82%B9%E3%81%A7%E3%81%8D%E3%81%BE%E3%81%9B%E3%82%93>

